

平成 25 年 8 月 3 日（土）

しもみずしいせき みぬしじんじゃひがしいせき

## 下水主遺跡、水主神社東遺跡現地説明会資料

調査場所 城陽市寺田金尾、水主倉貝・大將軍

調査期間 平成25年4月26日～12月中旬（予定）

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター  
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-3  
URL <http://www.kyotofu-maibun.or.jp>

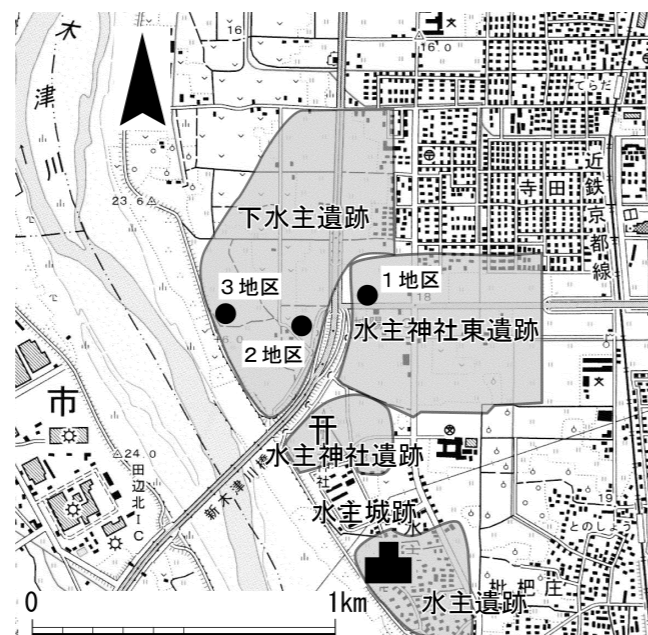
## はじめに

下水主遺跡、水主神社東遺跡は城陽市の南西部、木津川右岸に所在する遺跡です。両遺跡とも、はじきすえき土師器・須恵器の散布地として知られていました。これらの遺跡の南側には式内社の水主神社のほか、水主城跡、現在の水主集落に重なる水主遺跡があります。また、調査地周辺には、水田の中に島畑が分布する特徴的な景観が広がっています。

今回は、新名神高速道路整備事業関連に伴う発掘調査の内、平成 25 年度に実施している水主神社東遺跡第 4・5 次調査（1 地区）、下水主遺跡第 4 次調査（2 地区、3 地区 1～12 トレンチ）の成果を発表します。

## 調査の概要

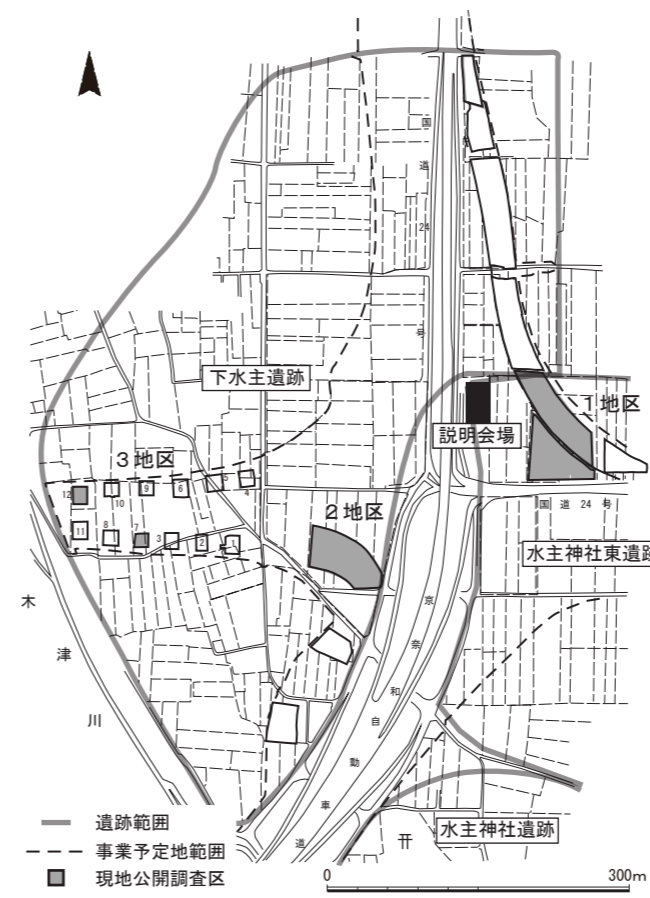
下水主遺跡・水主神社東遺跡は、前年度の調査では中世の島畑を検出しました。今年度は、1 地区では中世の島畑とその下層で掘立柱建物などがみつかりました。2 地区では中世の島畑がみつかっています。3 地区の 1～12 トレンチでは、中世の島畑と下層で平安時代の掘立柱建物・井戸、弥生時代後期の堅穴建物などがみつ



第 1 図 調査地位置図（国土地理院 1/25,000「宇治」）  
かりました。

## 中世の遺構

**島畑** 東西・南北に主軸をもつ島畑を検出しました。島畑は、周囲の地面を掘り下げた土を盛って高まりを造り、畑として利用するものです。島畑の全体を調査していませんので低いところが何に利用されていたのか正確なことはわかりませんが、規模は幅 8～15m 程度、長さ 50～100m 程度あります。土層の観察より、耕作時は周囲より 0.6～0.8m 程度の高さがあったと考えられます。島畑の平坦面には 3 回程度の土盛りをしていることが土層の観察でわかりました。島畑間の窪地埋土の最下層からは 13 世紀



第 2 図 下水主遺跡・水主神社東遺跡調査地配置図

前半の土師器・瓦器などが出土しており、最上層からは近代の陶磁器が出土しています。

このことより、13 世紀前半に島畑が造られ、近代に至るまで島畑として耕作されたことがわかりました。島畑と島畑の間の窪地の堆積土から植物の種子が見つかっています。中世の堆積土中では明らかな栽培種は確認できませんでしたが、江戸時代末頃以降の土層中からはワタ、オオムギ、コムギ、ウリなどの栽培種の種子がみつかりました。

## 中世以前の遺構

1 地区では、島畑 17 の上面から縄文時代晩期の突帯文土器が出土しましたが、遺構は確認できませんでした。

3 地区では、1 トレンチで平安時代の掘立柱建物、7 トレンチで平安時代の木組の井戸、12

トレンチで弥生時代後期の堅穴建物がみつかりました。

## まとめ

現在の寺田・水主地区の水田区画には、条里型地割（古代～中世において施工された 109m 方格の土地区画を条里といい、その土地区画を踏襲したと考えられている地割）が明瞭に認められます。今回検出した島畑の配置は現在の水田区画と合致することが明らかとなりました。このことから、島畑が造成された時点の配置が、そのまま現在の水田区画に踏襲されていると言えます。島畑上には 3 回程度の盛土が認められますが、島畑を改修する際には、島畑の上に土を盛るだけで、平面的な形を変えていなかったと考えられます。

今回の調査の結果、寺田・水主地区に見られる条里型地割が 13 世紀前半にさかのぼることがわかりました。南山城地域の条里型地割の成立時期や水田・島畑といった土地利用のあり方を検討する上で重要な資料といえます。

また、城陽市域の島畑では、江戸時代から明治時代にかけて綿の栽培が知られていましたが、調査の結果、その実態が明らかとなりました。中世の段階については、今後の調査で明らかになることが期待されます。

なお、3 地区では弥生時代、平安時代の集落がみつかりました。木津川に近接する低地の中の高まりを選んで人々が住んでいたと考えられます。



用語解説 島畑 (しまばた)

「畑が水田に比べて少し高く、水田にかこまれて島のように分布することをいう。水田との比高は一般に1m以下である。島畑は主として用水の不十分か、水位の低い扇状地や氾濫原にみられる」(『日本歴史地理学用語辞典』柏書房 1981より抜粋)。また、文化庁の『農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究』(平成15年度)では、「畑地景観」で、城陽市所在の「木津川流域の島畑」が掲げられています。



下水主遺跡2地区 島畑

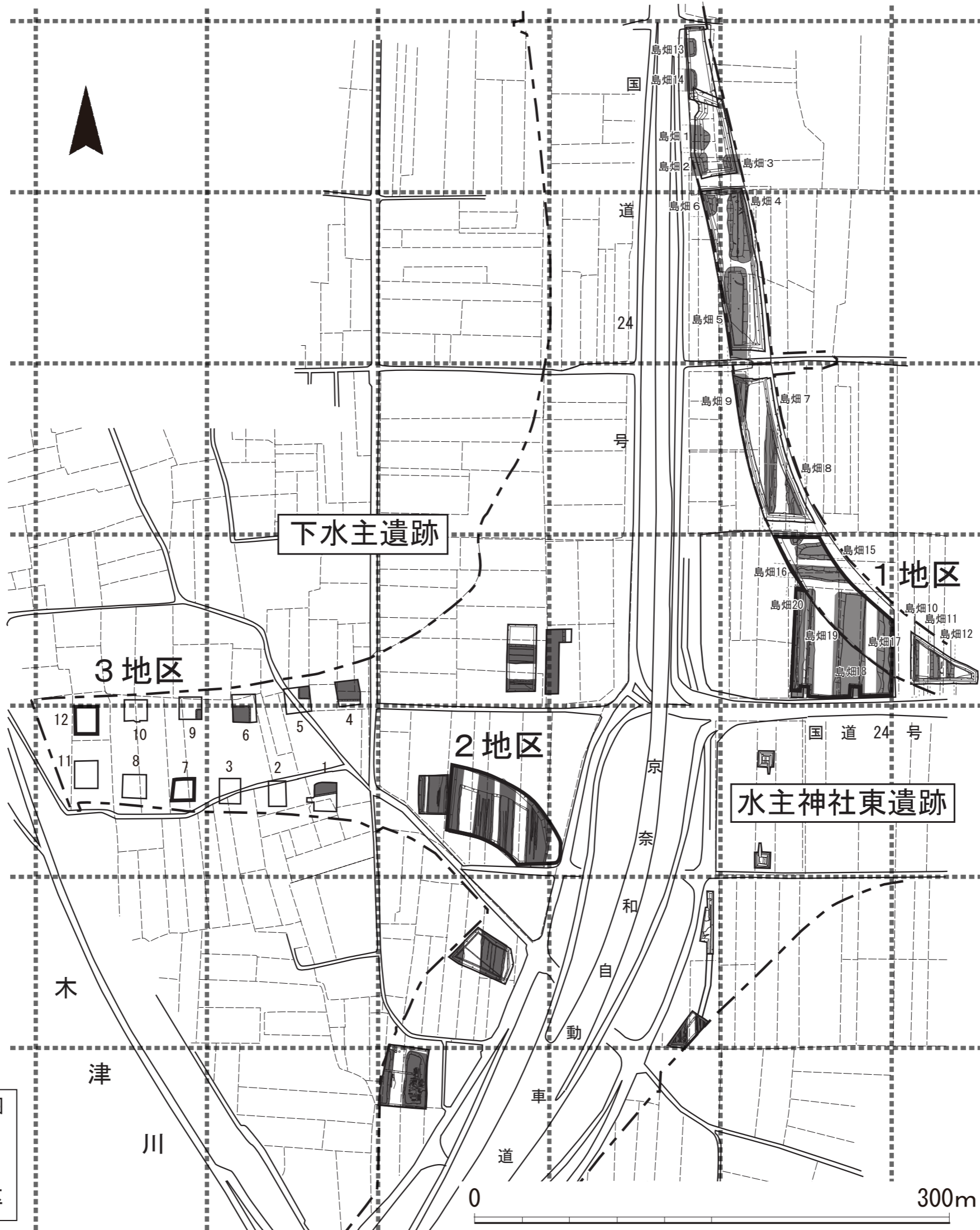


下水主遺跡3地区 7トレンチ  
平安時代井戸



下水主遺跡3地区 12トレンチ  
弥生時代後期竪穴建物

- 事業予定地範囲
- - - 条里型地割
- 島畑
- 現地公開調査区



下水主遺跡・水主神社東遺跡  
全景 (平成24年度調査)



水主神社東遺跡 島畑5  
(南から: 平成24年度調査)



水主神社東遺跡1地区  
島畑17 (北から)



水主神社東遺跡1地区  
島畑18 (北から)